

見つけた！

442年ぶりの天体ショー

皆既月食と天王星食



今回の珍百景は、11月8日の夜に観測された、皆既月食をご紹介します。

月食とは、太陽と月の間に地球が入り、太陽・地球・月の順番に一直線に並んだときに地球の影に月が入り、月が欠けて見える現象です。そして、月全体が完全に地球の影に入ること「皆既月食」と言います。

皆既月食の場合は、月が見えなくなるのではなく、月が「赤銅色」と呼ばれる赤黒い色に見えます。これは、地球のそばを通る光は、大気がレンズの役割を果たして屈折し、地球の影の中に入り込みますが、波長の性質上、波長の長い赤い光だけが弱められながらも大気を通り抜けることができるため、月に届いた赤い光が月面を照らし、赤黒く見えます。

今回の皆既月食では、月食の最中に、天王星が月に隠れる「天王星食」も見られました。惑星食の現象は珍しくありませんが、月食の最中に起こることはめったになく、日本では1580年7月26日以来、442年ぶりでした。次に見られるのは、322年後のことです。

天王星は明るさが弱いため、普段肉眼で見ることがむずかしく、この写真にもかかわらずにしか写っていませんが、月の左下あたりに位置しています。

— 珍百景を募集!! —

皆さんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ？」って思わず言ってしまうような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係（☎333-0334）までご連絡ください。お待ちしております。

つむぎの分別

難問(?)ごみの分別

みなさんはごみの分別に迷うことはありませんか？今回は特集を作るときに調べて僕がこれまで間違っていた、ごみの分別を紹介したいと思います。

①くつした・ハンカチ→資源ごみ ○可燃ごみ
『解説』小さい布はリサイクルできないため可燃ごみで出すのが正解だそうです。

②紙パック（内側が銀色）→可燃ごみ ○資源ごみ
『解説』銀色の部分も含めてリサイクルできるそうです。

③色付きの食品トレイ →可燃ごみ ○プラスチック製容器包装 『解説』色や柄のついた食品トレイで、「プラ」と書かれているものはプラスチック製容器包装で出せます。

みなさんはご存じでしたか？ごみ分別アプリでは、いろんなものの分別方法が載っていて、もし載っていないものも問い合わせができるので便利です。

（アプリセールスマン 愛野 裕基）

今年ももじの季節です

今年も「光の祭典in紀宝」が開催されます。規模を縮小している飾り付けも去年より少し増え、光のトンネルなどが復活していますので、ぜひお越しください。

話は変わりますが、この季節になると町のイルミネーションとテレビから流れるクリスマスソングのおかげでウキウキしますと同時に、1年が終わるさみしさを感じます。年が明けるのは嬉しいし、明けたら「ハッピーニューイヤー」と陽気にあいさつするのに、毎年さみしい気分になるのはなぜだろうと不思議に思います。

ですが、今年やり残したことを来年に持ち越さないように最後の悪あがきをして、サンタさんからプレゼントが届きますようにお願い、あーっか月過すぞーっかと思っています。

（サンタちゃんによる子アピール中 大森 菜由）



広報担当
大森です。



広報担当
大森です。

